
良品計画

拡大する海外事業、

複雑化するデータ連携を解決

海外拠点へのスキル教育ゼロで実現した国内外のデータ連携構築

会社紹介

株式会社 良品計画

- 会社名 株式会社良品計画 Ryohin Keikaku Co.,Ltd.
- 所在地 〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3
- 設立 1989年6月(登記上 1979年5月)
- 資本金 67億6,625万円
- 決算日 2月末日
- 年商 3,332億8,100万円(良品計画グループ営業収益)
- 従業員数 16,195名(パートタイム社員等 9,203名を含む/良品計画グループ)

衣料品から家庭用品、食品、文房具、さらには住宅まで、約7,000品目を展開する「無印良品」。

その企画開発・製造から流通・販売まで手掛ける。



会社紹介

海外事業

は主に「MUJI」で展開。
店舗数は26カ国418店(2017年2月)と、
国内の「無印良品」店舗数に並ぶ

海外店舗
増加率

Store increase
outside Japan

18.4%

2016年2月期353店舗から2017年2月期418店舗へ、インドやサウジアラビアなどの新規国を含め65店舗増加しました。

営業収益
海外比率

Share of operating
revenue outside Japan

35.3%

東アジア事業、欧米事業、西南アジア・オセアニア事業に分かれており、アジア地域における営業収益が多くを占めています。

出典:2017会社案内より
https://ryohin-keikaku.jp/corporate/pdf/2017_je.pdf

n 15店舗

体にフィットするソファ



海外事業拡大、データ連携基盤の構築 ＜標準化の課題＞

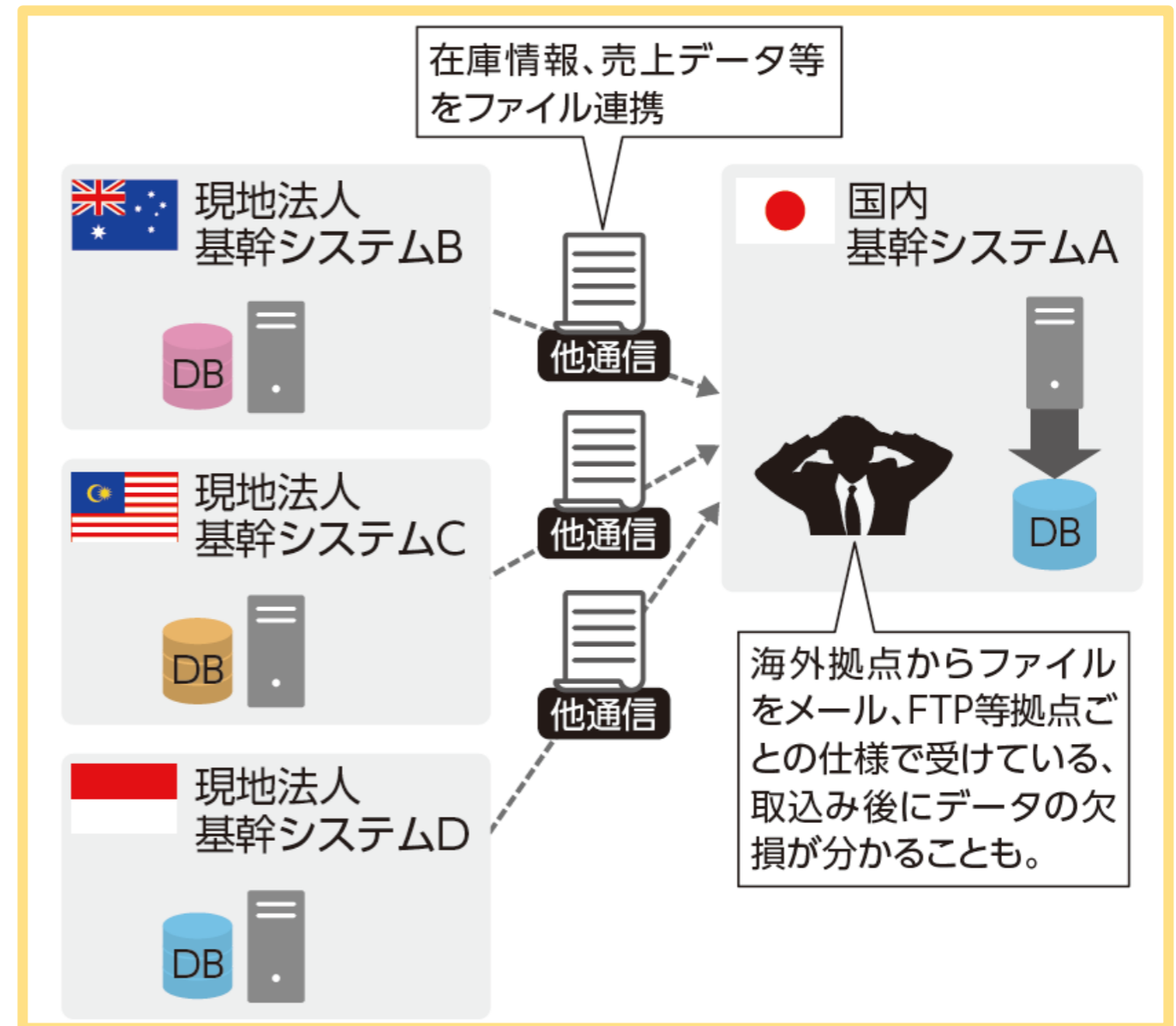
標準化の課題

海外事業拡大、顕在化した課題

海外店舗との「在庫情報」「売上データ」データのやり取りが拡大

その結果、データ交換に複数の仕組みが乱立。

海外製ツールやFTPを利用したが、設定の複雑さにより活用されなかったりデータ欠損など様々な問題が発生



標準化の課題

仕組み①

FTPで 自前構築

- ・データ欠損
- ・エラー時のリカバリ
 - 開発工数大
 - リスク大

仕組み②

海外製ファイル 転送ツール

- ・機能設定が複雑で運用に難あり。
- ・ツール活用が進まず。

HULFTを海外にも展開

国内利用で既に実績のあったHULFTを海外にも展開

「海外との通信回線をIP-VPN化するプロジェクト」の中で採用

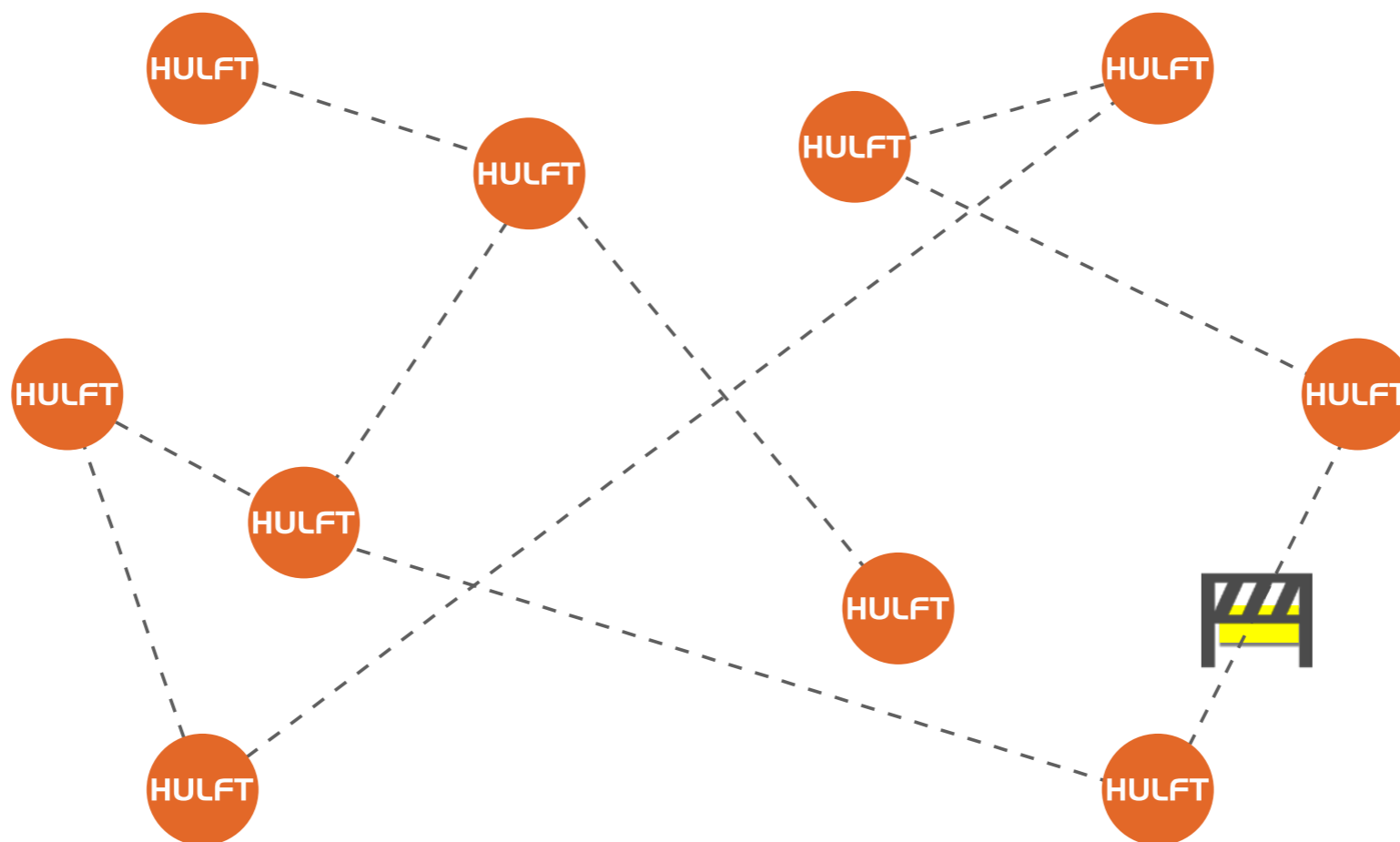


「欠損がなく、データを確実に転送してくれる」ことが海外拠点との
連携においても可能となった

海外事業拡大、データ連携基盤の構築 ＜管理の課題＞

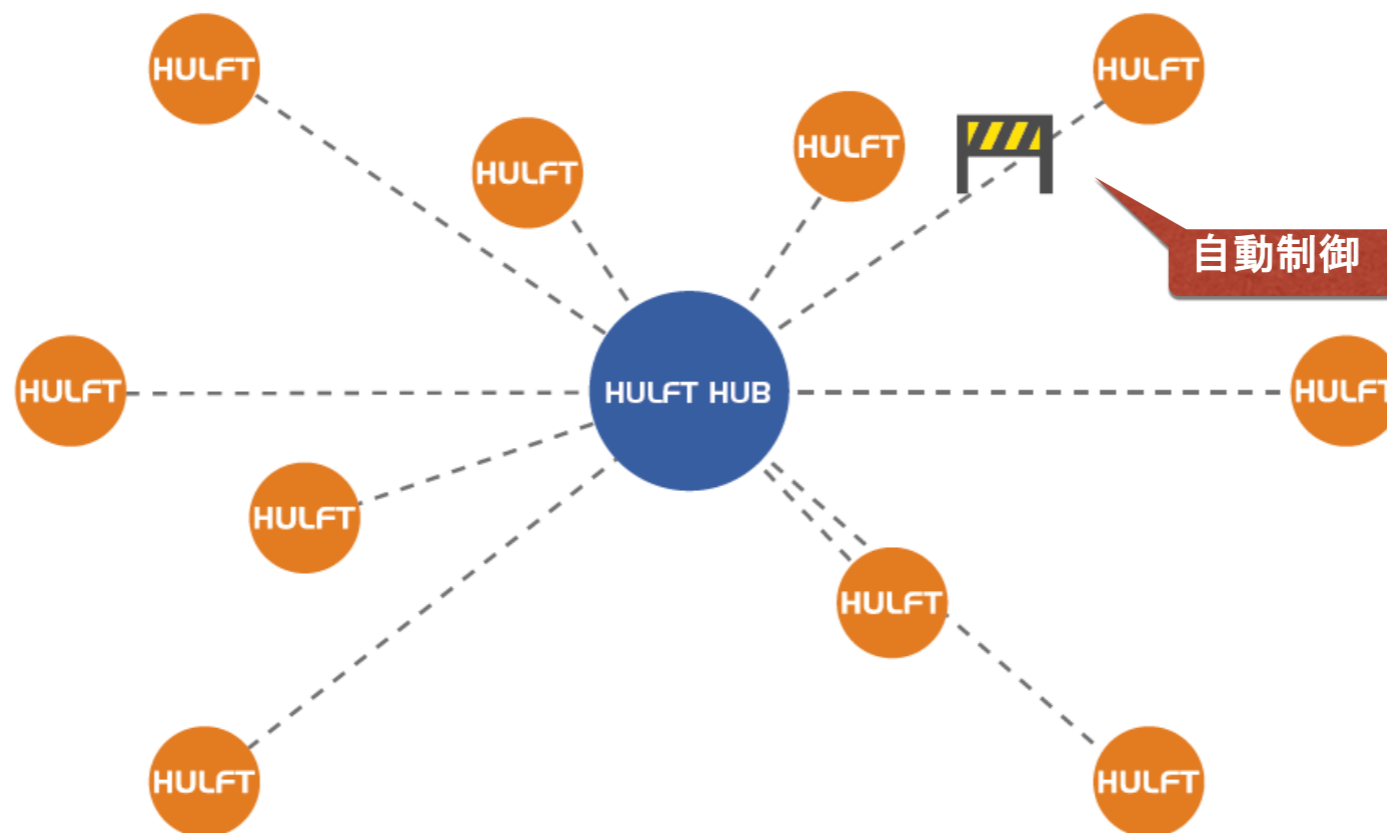
増加するHULFT増大する管理負荷

- 業務毎のHULFTカスタマイズが横行しHULFTの管理負荷が増大
- 海外回線メンテナンス時転送スケジュール管理が困難



HULFT-HUBを採用

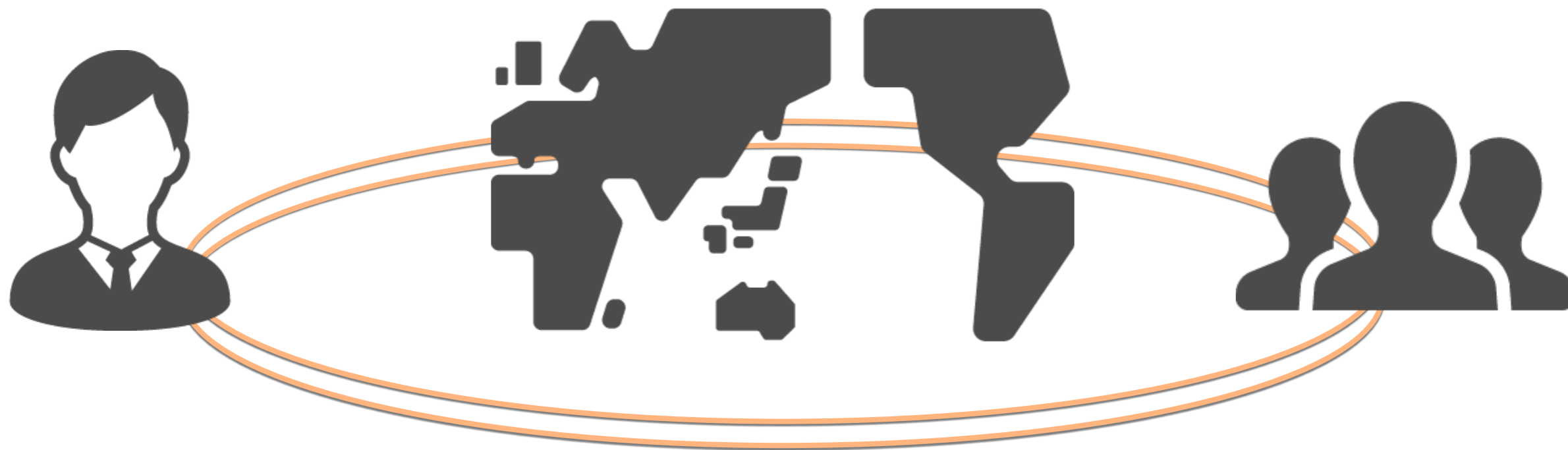
- 数多くのHULFTを一元的に管理可能に
- 海外回線メンテナンス時HULFT-HUBで自動対応



海外事業拡大、データ連携基盤 ＜導入・運用・構築＞

拠点先：海外技術者の反応

- ✂ **導入**... 予め日本側で設定ファイルを作成
- ✂ **運用**... 海外の技術者もトレーニング無しでHULFTを使いこなせた



HULFT-HUBの構築

✂ 構築...数人のエンジニアが2~3カ月の期間で構築



海外事業拡大、データ連携基盤 ＜効果＞

効果



NTTデータ
ビジネスソリューション事業本部
ネットワークソリューション事業部
ネットワークインテグレーション統括部
インテグレーション担当
主任

野々山 亮氏

運用開始から1年ほど経ち、
大きなトラブルは全くありません。
HULFT-HUBにより、
トラフィック状況の把握が可能に
なっただけでなく、
トラブルが生じた際の原因切り分けも
容易に行えるようになりました



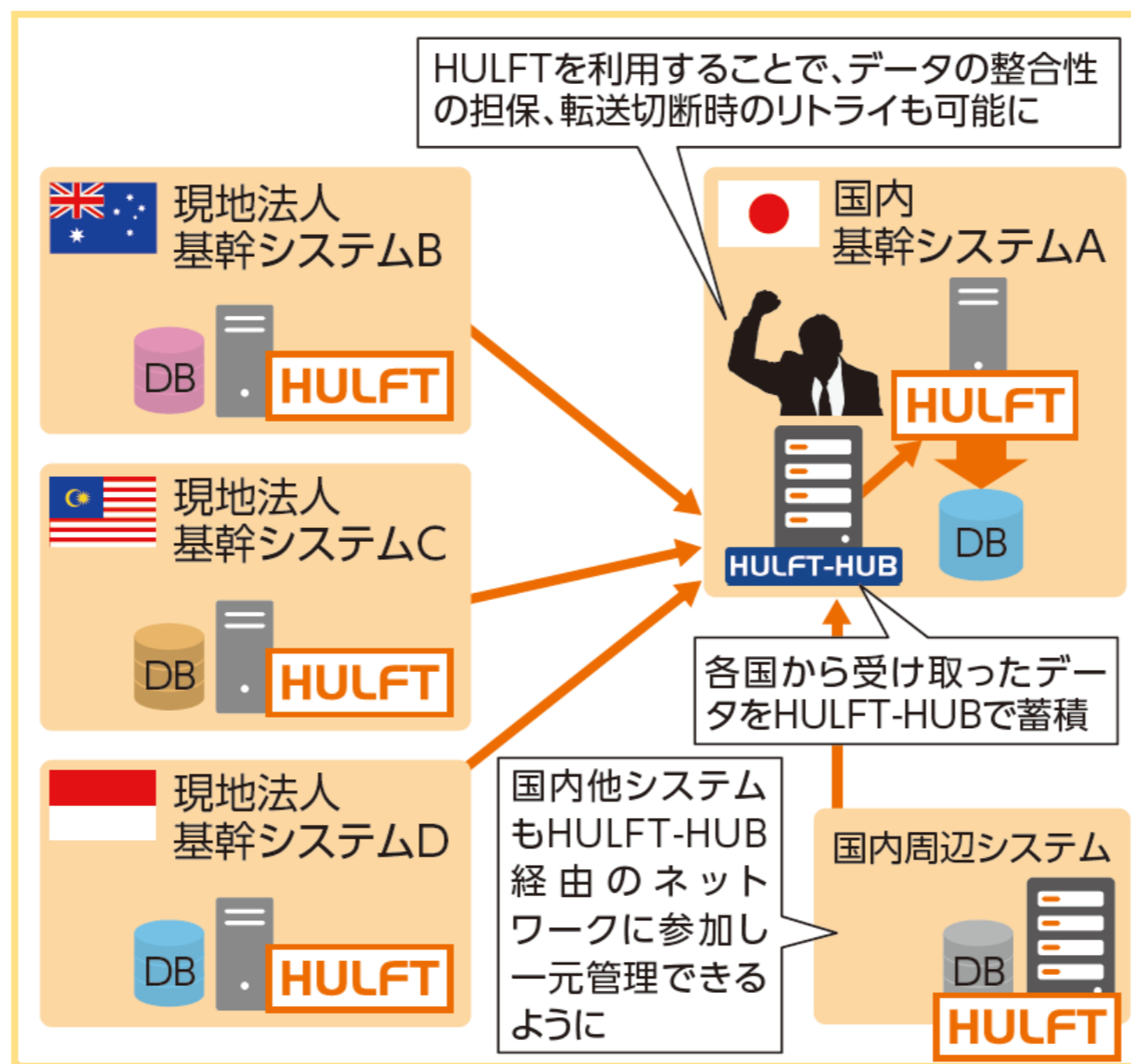
良品計画
情報システム担当
インフラストラクチャー課

小野塚 昌樹氏

国際回線ならではの事情にも HULFT-HUBが役立っている

海外との回線は比較的メンテナンスが頻繁に行われます。それを回避するには、時間帯をあらかじめ把握した上で時間をずらしてデータを送信したり、あるいはバックアップ回線を使うなどの対応が少なからず発生します。そういった対応も、HULFT-HUBなら安心して任せることができます

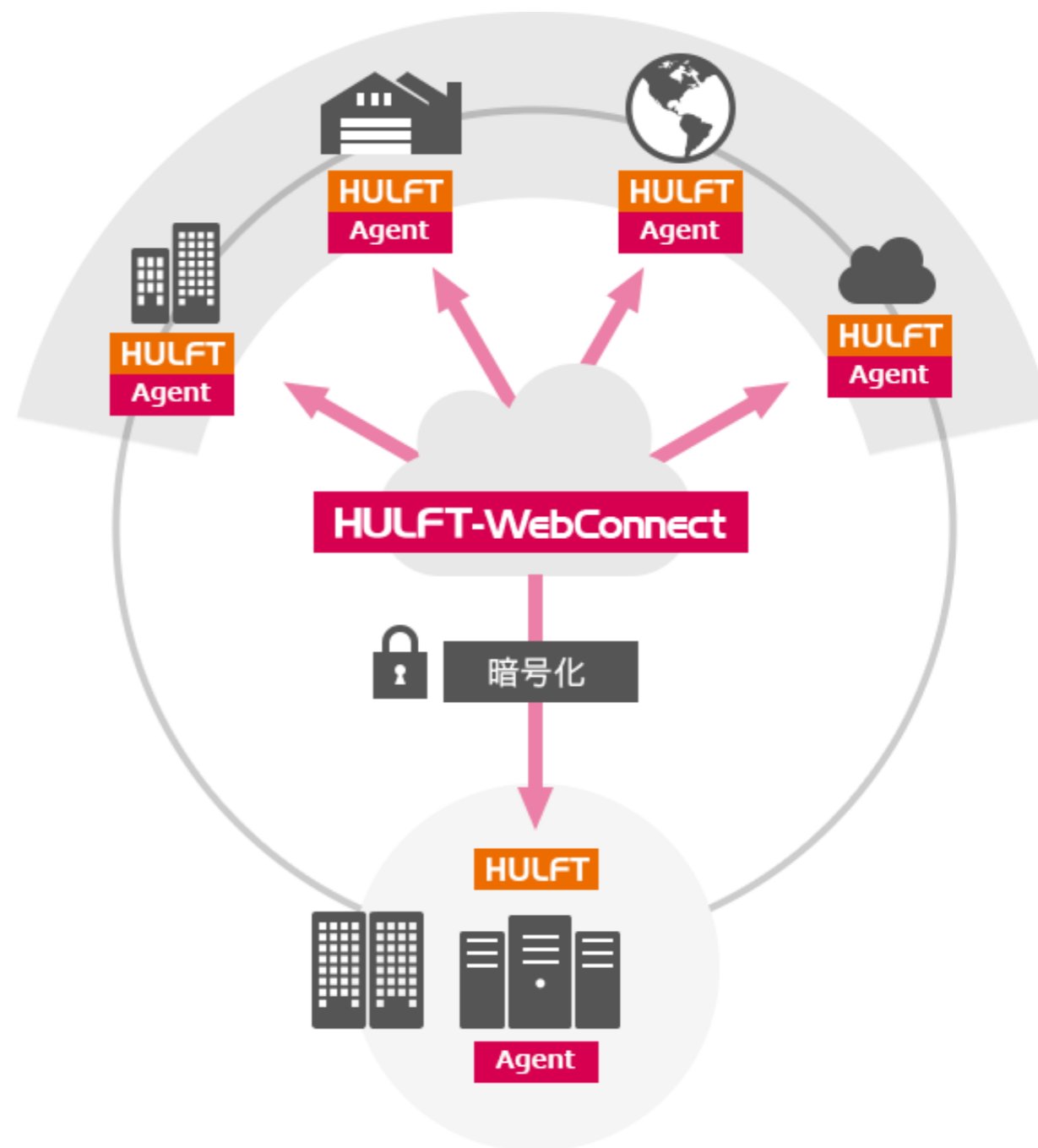
2017年4月時点で6カ国のシステムが HULFTによるファイル転送を行っている



海外事業拡大、データ連携基盤 〈これから〉

これから

- ✂ HULFTを入れることが
困難な海外の環境には
『HULFT-WebConnect』の
併用も検討
- ✂ 国内システムもHUB活用へ



ご清聴ありがとうございました。